
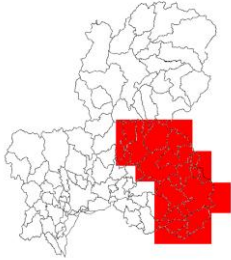


ヤクシマヒメアリドオシラン	<i>Kuhihasseltia yakushimensis</i> (Yamam.) Ormerod	絶滅危惧 I 類
(環境省: 準絶滅危惧)		ラン科
選定理由	大雨で流されることがある。	<p>写真(山崎玲子)</p> 
形態の特徴	高さは4-10cm。茎の下部は地上を這う。暗緑色で卵形の葉を茎の下部に3-5枚互生する。白～淡紅色の花を1-3個付ける。。唇弁は大きくて基部は袋状の距となる。ハクウンランと比べると唇弁は大きくて先端が尖る。花期は8月。	
生態的特徴	山地の湿気た樹林下に見られる。	
分布状況	本州、九州、沖縄に分布する。岐阜県では美濃地方の中部と東部に分布する。	
減少要因	雨で流されることによる。	
保全対策	大雨で流されないように森林を保全する。	
特記事項		
参考文献		
		 <p>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</p>

文責: 山崎玲子